

## 令和8年度（2026年度）予算概要

会計		令和8年度 (2026年度) A	令和7年度 (2025年度) B	増減	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
一般会計		70,880,000	73,480,000	▲ 2,600,000	▲ 3.5
特別会計	財産区事業費	2,828,984	1,704,410	1,124,574	66.0
	国民健康保険事業費	13,411,809	13,452,615	▲ 40,806	▲ 0.3
	介護保険事業費	12,648,654	12,314,824	333,830	2.7
	後期高齢者医療事業費	3,812,510	3,193,768	618,742	19.4
	公共用地先行取得事業費	1,683,800	1,621,338	62,462	3.9
	介護サービス事業費	12,639	12,359	280	2.3
	特別会計の計	34,398,396	32,299,314	2,099,082	6.5
企業会計	病院事業会計	2,532,924	2,926,076	▲ 393,152	▲ 13.4
	水道事業会計	4,354,039	4,136,250	217,789	5.3
	公共下水道事業会計	4,010,819	3,645,631	365,188	10.0
	ポートレース事業会計	66,148,940	94,980,568	▲ 28,831,628	▲ 30.4
	企業会計の計	77,046,722	105,688,525	▲ 28,641,803	▲ 27.1
合計		182,325,118	211,467,839	▲ 29,142,721	▲ 13.8

### \*\*\*\* 当初予算の全体像 \*\*\*\*

《一般会計の予算額》 708億80百万円 <▲ 26億円、▲ 3.5%>

扶助費を始めとした社会保障関係費などが増加したものの、定額減税にかかる不足額給付の交付完了や、消防拠点整備費用の減などにより、予算額が26億円減少しました。

《全会計の予算額》 1,823億25百万円 <▲ 291億43百万円、▲ 13.8%>

ポートレース事業会計において、SG競走（グランプリ）の非開催年にあたるため、予算規模が縮小したことなどにより、全会計の予算総額が約291億円減少しました。

#### ◆ 一般会計の主な歳入の状況

・市税 293億78百万円 <+ 19億90百万円、+ 7.3%>

所得・納稅義務者数の増加による個人市民税の増、新築物件の増加などによる固定資産税の増などにより、約20億円増加しました。

・市債 41億54百万円 <▲ 8億8百万円、▲ 16.3%>

学校の長寿命化改修やあかつき園の再整備、街路灯のLED化などの財源として市債を発行する予定です。

・ポートレース事業会計繰入金 20億円 <▲ 10億円、▲ 33.3%>

SG競争（グランプリ）の非開催年ではあるものの、好調な業績を背景に、20億円の繰入金を見込んでいます。新市立病院の整備に関する事業に活用します。

#### ◆ 一般会計の主な歳出の状況

・普通建設事業費（施設整備など） 84億18百万円 <▲ 13億34百万円、▲ 13.7%>

消防拠点整備や室内温水プール整備にかかる事業費が減少したことなどにより、約13億円減少しました。

・補助費等（各種補助金など） 51億16百万円 <▲ 5億80百万円、▲ 10.2%>

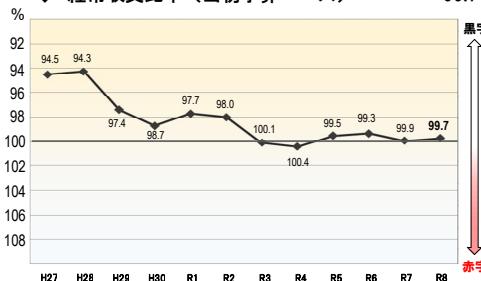
定額減税にかかる不足額給付の交付が完了したことなどにより、約6億円減少しました。

・人件費 127億22百万円 <+ 3億32百万円、+ 2.7%>

令和7年度人事院勧告による職員給与費の増加や、会計年度任用職員の報酬改定などにより約3億円増加しました。

### \*\*\*\* 収支バランスの状況 \*\*\*\*

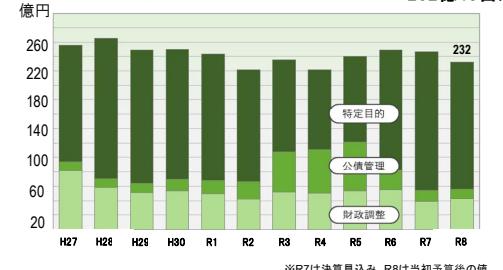
◆ 経常収支比率（当初予算ベース） 99.7% <▲ 0.2ポイント>



人件費や社会保障関係費は増加したもの、市税収入の増などにより、昨年度から0.2ポイント改善し、4年連続で100%を下回ることができました。

引き続き、未来への投資と財政規律の堅持を両立し、堅実な行財政運営を行っていきます。

◆ 基金残高（普通会計ベース） 232億43百万円 <▲ 13億71百万円、▲ 5.6%>



新市立病院の整備に活用するため「新市立病院整備基金」にポートレース事業会計繰入金を積み立て一方で、（仮称）新みのおサンプラザ1号館の整備や学校給食の無償化などに基金を活用することにより、基金残高は約14億円減少しました。

◆ 市債残高（普通会計ベース） 518億33百万円 <+ 27億27百万円、+ 5.6%>



昨年度に引き続き、学校の長寿命化改修や、あかつき園の再整備に加え、街路灯のLED化などにかかる市債を発行するため、市債残高は約27億円増加しました。